



HEIWA PAPER

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 平和紙業株式会社

コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小島 勝正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長

(氏名) 浦戸 晴夫

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3206-8501

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,988	0.8	119	21.1	150	17.9	75	—
25年3月期第2四半期	9,911	2.6	98	34.8	127	28.6	△237	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 107百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △139百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.67	—
25年3月期第2四半期	△24.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年3月期第2四半期	16,355		7,611		46.5	
25年3月期	17,048		7,552		44.3	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,611百万円 25年3月期 7,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,560	1.0	262	1.2	307	3.7	170	—	17.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	10,116,917 株	25年3月期	10,116,917 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	251,162 株	25年3月期	250,647 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	9,866,082 株	25年3月期2Q	9,867,794 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目指す現政権の積極的な経済政策が導入された結果、緩やかに回復しています。個人消費は、株価上昇による資産効果が景気を刺激する等、アベノミクスのプラス効果への期待から消費者心理が改善し、持ち直しの傾向にあります。企業収益は円安による輸出の増加や設備投資の底打ち等の影響で、大企業を中心に改善しています。しかしながら、景況のかかる好調さが所得水準の明確な向上をもたらすまでには至っておらず、夏場にかけて消費者の購買意欲には一服感が漂いました。しかし、経済全体の増勢は維持されており、一時的な下振れに留まるものと予想されます。

紙業界におきましては、洋紙・板紙の国内出荷量は前年同期実績を上回りました。円安による輸入紙の減少と輸出の大幅な伸びを背景に、印刷用紙の需給ギャップには改善の兆しが見られます。円安進行により輸入木材チップや重油等の原燃料価格が上昇する中で、製紙メーカー各社は今年3月に製品価格の値上げを表明いたしました。その結果、一部に値上げ前の駆け込み需要や、7月の参議院選挙並びに消費税の増税による需要等が発生し、輸入紙からの切替えも影響して、商業印刷分野の主要品種であるカタログ・パンフレット向け塗工印刷用紙は、前年同期実績から連続プラス基調で推移いたしました。

このような環境の中で当社グループは新3ヶ年計画の2年目を迎え、持てるサービス力を一枚の紙に結集することを通してお客様のニーズに応えようと全社一丸となった販売努力を継続し、高級印刷紙とベーシックペーパーにおいて前年同期実績を上回ることができましたが、ファンシーペーパー等の4品目においては前年同期実績を上回ることができませんでした。その一方で海外子会社が売上げを伸ばし、グループ全体の業績向上に寄与いたしました。

その結果、売上高は99億88百万円（前年同期比0.8%増）となりました。利益面では経常利益は1億50百万円（前年同期比17.9%増）、四半期純利益は75百万円（前年同期は四半期純損失2億37百万円）となりました。

<当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

品目別	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	2,495	26.4	2,493	26.4	△0.0
ファインボード	1,123	11.9	1,088	11.6	△3.1
高級印刷紙	2,249	23.8	2,305	24.4	2.5
ベーシックペーパー	2,383	25.3	2,472	26.2	3.7
技術紙	1,000	10.6	893	9.5	△10.7
その他	187	2.0	178	1.9	△4.4
合計	9,439	100.0	9,432	100.0	△0.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

[ファンシーペーパー]

高級感があり独特の色や風合いで差別化を図るファンシーペーパーは、贈答品パッケージやラベル、書籍出版物のカバー・表紙・見返し、さらには高級カレンダー等に幅広く採用されました。また、装丁家やグラフィックデザイナー等の用紙決定者へのPR活動の継続効果もありましたが、コスト面から用紙のグレードダウンが顕著で、市場としては全体に縮小傾向となり前年同期実績を上回ることができませんでした。

その結果、売上高は24億93百万円となり前年同期比ほぼ横ばいとなりました。

[ファインボード]

商品イメージの豪華さやその差別化において訴求力のあるファインボードは、カード紙やパール調加工紙、植毛紙といった高付加価値商品が、卓上カレンダー、DVDケースやパッケージ用途に数多く採用されました。しかしながら、価格的な要因から一般白板紙に切替わる傾向は根強く、前年同期実績を上回ることができませんでした。

その結果、売上高は10億88百万円となり前年同期比3.1%の減少となりました。

[高級印刷紙]

環境対応型商品を主力とした高級印刷紙は、印刷仕上りの良さが追求されるカレンダーや出版物のカバー部分、化粧品のカatalog等の多様な用途での採用実績がありました。特に環境対応を考慮したプリンティングファンシーペーパーやケント紙等の採用機会が多く、商品群全体として前年同期実績を上回ることができました。

その結果、売上高は23億5百万円となり前年同期比2.5%の増加となりました。

[ベーシックペーパー]

一般的な印刷物に幅広く使用されるベーシックペーパーは、上質紙、色上質紙、微塗工紙を中心に、一般商業印刷物やチラシ、封筒等に数多く採用されました。また、製紙メーカー各社が打ち出している秋口の値上げを見越した駆け込み需要のプラス影響もあり、前年同期実績を上回ることができました。

その結果、売上高は24億72百万円となり前年同期比3.7%の増加となりました。

[技術紙]

高い用途適性と機能性を備えた技術紙においては、防虫用途の原紙や偽造防止用紙、食品向け耐水紙・耐油紙等が堅調に推移しました。しかしながら、東日本大震災やタイの洪水被害による供給ストップで一時的な代替供給を行っていた電子機器製造用工程紙や医療用滅菌紙が、いずれも本来の供給体制の回復によって出荷量が激減したことから、前年同期実績を上回ることができませんでした。

その結果、売上高は8億93百万円となり前年同期比10.7%の減少となりました。

[その他]

トイレットペーパーやティッシュペーパーを中心とした家庭紙は、国内量販店が輸入品の取扱い量を増やしたことによる国内品の減少、また、製紙関連資材の販売量の減少等により売上が大きく減少し、前年同期実績を上回ることができませんでした。

その結果、売上高は1億78百万円となり前年同期比4.4%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6億93百万円減少して、163億55百万円となりました。主な要因は、現金及び預金は2億68百万円増加いたしました。受取手形及び売掛金が9億64百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて7億51百万円減少して、87億44百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が7億52百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて58百万円増加して、76億11百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が47百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、今年2月に成立した緊急経済対策効果の本格化や雇用・賃金の緩やかな増勢に加え、来年4月の消費税率引き上げを前にした駆け込み需要も見込まれることから、景気回復の動きが一層確かなものになることが期待されます。円安に伴う原材料価格上昇を主因とした企業収益圧迫の懸念は依然としてあるものの、投資意欲が改善していることや緊急経済対策関連の公共投資の増加等が内需を下支えすることが予想されるため、わが国経済は2013年度後半に向け比較的順調な成長を遂げるものと思われま。

紙業界におきましては、国内景気のプラス成長が見込まれることから、洋紙・板紙の出荷にも明白に復調の兆しが見受けられます。しかし、紙パルプ産業においては依然として輸入原燃料価格の高騰が収益を圧迫する事態が続いており、この影響を受けて製紙メーカー各社は、今年2回目になる製品価格の値上げを10月下旬出荷分より実施する旨を発表しました。年度後半にかけて印刷用紙需要は底堅く推移すると見込まれるものの、この値上げにより需要家の紙離れや使用量の減少といったマイナス要因も同時に懸念されることから、制作物の部数減やサイズの縮小化、電子媒体へのシフト、用紙の薄物化やグレードダウン等の傾向が今後も続いていくものと予想されます。

当社グループといたしましては、本業である紙流通の原点に立ち戻り、付加価値の高い取扱い商品のさらなる拡充を目指してまいります。すでに昨年から今年にかけて、パッケージ用途に最適な「ジェントルBOX」と「ニューズ」、高級印刷紙の新しいスタンダード商品「ベビーフフェイス」等のFSC®森林認証紙に加え、月のイメージを表現した「かぐや」、従来品を統合させた「Magカラー」、落ち着いた色柄の「クラシックコラムス」等の本格的ファンシーペーパーを複数上市し、積極的な販売活動を展開中です。

また、昨年度より始動しております新3ヶ年計画の戦略方針に沿って、様々な角度での事業内容刷新策を各部門で着実に実行してまいり所存です。顧客ニーズに沿った効果的な用紙提案、常備在庫品の安定供給及び物流面での対応はもとより、マーケティング機能の強化策等を通じて、あらゆる面でお客様へのサービス向上と自社の業績拡大を図ってまいります。

なお、平成26年3月期の連結業績につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,473,668	2,741,899
受取手形及び売掛金	7,227,826	6,263,748
商品	3,497,737	3,508,635
貯蔵品	67,633	78,957
その他	201,679	186,536
貸倒引当金	△32,174	△20,835
流動資産合計	13,436,370	12,758,940
固定資産		
有形固定資産	1,068,318	1,043,998
無形固定資産	126,003	92,883
投資その他の資産		
投資有価証券	1,687,060	1,765,655
その他	790,827	758,289
貸倒引当金	△59,776	△64,211
投資その他の資産合計	2,418,110	2,459,733
固定資産合計	3,612,432	3,596,615
資産合計	17,048,802	16,355,556

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,040,556	5,287,651
短期借入金	2,416,979	2,548,962
未払法人税等	63,219	53,136
賞与引当金	105,296	92,920
その他	233,511	205,398
流動負債合計	8,859,563	8,188,070
固定負債		
退職給付引当金	331,638	309,930
資産除去債務	77,813	78,600
その他	226,798	167,576
固定負債合計	636,250	556,107
負債合計	9,495,813	8,744,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	3,105,933	3,132,371
自己株式	△122,726	△122,866
株主資本合計	7,422,439	7,448,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,389	175,853
為替換算調整勘定	2,160	△13,212
その他の包括利益累計額合計	130,549	162,641
純資産合計	7,552,988	7,611,378
負債純資産合計	17,048,802	16,355,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	9,911,669	9,988,897
売上原価	7,982,520	8,073,954
売上総利益	1,929,149	1,914,943
販売費及び一般管理費	1,830,300	1,795,283
営業利益	98,848	119,659
営業外収益		
受取利息	3,972	5,729
受取配当金	12,409	16,748
受取賃貸料	10,950	10,950
その他	15,362	12,245
営業外収益合計	42,693	45,673
営業外費用		
支払利息	7,680	6,933
賃貸用資産減価償却費	4,187	3,397
その他	2,303	4,857
営業外費用合計	14,171	15,189
経常利益	127,370	150,144
特別損失		
固定資産除却損	21,192	3,107
投資有価証券売却損	103,300	—
投資有価証券評価損	200,695	—
ゴルフ会員権売却損	—	3,045
特別損失合計	325,189	6,152
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△197,818	143,991
法人税、住民税及び事業税	12,199	44,888
法人税等調整額	27,253	23,332
法人税等合計	39,452	68,221
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△237,271	75,770
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△237,271	75,770

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△237,271	75,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,499	47,464
為替換算調整勘定	△6,857	△15,372
その他の包括利益合計	97,642	32,091
四半期包括利益	△139,628	107,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△139,628	107,861

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△197,818	143,991
減価償却費	104,924	73,817
投資有価証券売却損益(△は益)	103,300	—
投資有価証券評価損益(△は益)	200,695	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,688	△12,602
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34,213	△7,244
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,054	△21,708
受取利息及び受取配当金	△16,381	△22,478
支払利息	7,680	6,933
固定資産除売却損益(△は益)	21,192	3,107
売上債権の増減額(△は増加)	391,335	970,268
たな卸資産の増減額(△は増加)	△148,007	△4,836
その他の流動資産の増減額(△は増加)	19,778	1,282
仕入債務の増減額(△は減少)	△318,992	△765,038
その他の負債の増減額(△は減少)	△16,390	△39,360
その他	30,526	△49,938
小計	134,263	276,192
利息及び配当金の受取額	14,686	22,657
利息の支払額	△7,802	△7,019
法人税等の支払額	△52,330	△52,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,818	238,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,740	△14,349
有形固定資産の売却による収入	—	136
無形固定資産の取得による支出	△4,808	—
投資有価証券の取得による支出	△106,283	△31,744
投資有価証券の売却による収入	94,099	—
投資有価証券の償還による収入	50,000	—
その他	△7,605	10,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,661	△35,060
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△40,628	121,351
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,005	△5,902
自己株式の取得による支出	△63	△140
配当金の支払額	△49,339	△49,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,037	65,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,125	△1,625
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,316	268,230
現金及び現金同等物の期首残高	2,409,368	2,473,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,421,684	2,741,899

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。